

インターネットバンキングがなくても自動で経理!

「通帳データ化サービス」のご案内

2017年8月より全アドバイザー様を対象に「通帳データ化サービス」の提供を開始いたします。
これは、預金通帳の画像データをfreeeにアップロードしていただければ、
弊社側でデータ化をおこなうアウトソーシングサービスで、
インターネットバンキングを持たない顧問先様の仕訳自動化も可能になります。
本サービスを活用して、さらなる省力化を進めていただければと思います。

★サービスの利用イメージ

① freee内で「通帳データ化を依頼」のボタンをクリックします。



② 依頼フォームにて事業所名や口座名などの情報を送信します。



③ データ化を依頼する通帳の画像データをアップロードします。



④ 2営業日以内に明細データを取り込んだ状態で納品します。

通帳データ化サービスの利用メリット

- ★インターネットバンキングを持っていない顧問先でも自動仕訳の機能が使えようになる
- ★p.28でご紹介している「連続取引登録」と併せれば、預金仕訳と現金仕訳の双方で仕訳入力の省力化が可能
- ★従来の入力代行サービスと違い、こだわりのある仕訳情報は自動仕訳ルールに寄せることができる

※従来の仕訳入力代行は勘定科目や補助科目の情報が思い通りにならず、修正の手間が発生することが多いが、本サービスは日付／金額／摘要のみをデータ化し、その他の情報は自動仕訳ルールに寄せるため、税務担当者の思い通りの仕訳が可能。

〈お問い合わせ先〉
「通帳データ化サービス」提供条件等の詳細は、
以下のメールアドレスまでお問い合わせください。
advisor@freee.co.jp

入力代行サービス徹底比較

会計事務所から「入力業務」を切り離す2つの新潮流、
自動化とアウトソーシング化。従来から繁忙期におこなわれてきた「親族の手を借りる」「臨時で人を雇う」といった
アウトソーシングと、専門の入力代行サービスを利用する

ことの最大の差は、品質を担保するための管理・監督を代行先が担ってくれること。当然、最終的な責任は会計事務所が担う必要があるものの、チェックだけにフォーカスできる点では非常に有効な選択肢と言えます。

★仕訳入力代行サービスの比較

		freee 通帳データ化サービス	S社 会計事務所プラン	M社 会計処理センター
サービス内容	作業範囲	日付／金額／摘要 (データ化代行) ※仕訳ルールで処理	日付／金額／摘要／ 勘定科目／補助科目 (仕訳入力代行)	日付／金額／摘要／ 勘定科目／補助科目 (仕訳入力代行)
	対象	通帳／現金出納帳 (画像データのみ)	通帳／現金出納帳 領収書／請求書 (画像データのみ)	通帳／現金出納帳 領収書／請求書 (原本／画像データ)
	納期	2営業日以内	1営業日以内	単価によって変動
料金	基本料金	なし	¥12,000 (100仕訳含)	¥35,000 (その他サービス含)
	従量単価	¥8 (手書きは¥12)	¥20	¥11~40 (内容によって変動)
	料金例 (通帳1000行を データ化した場合)	¥8,000 ・従量単価で1000行	¥30,000 ・基本料金で100行 ・従量単価で900行	¥54,000 ・従量単価で1000行 ・3営業日／科目記載無 を想定 ・5依頼に分けた想定

設定工数、確認工数がサービス選びの肝!

主な仕訳入力代行サービスと比べてみると、完全従量課金制・従量単価ともに、価格面ではfreeeに分がありますが、勘定科目や補助科目等の仕訳情報の入力まではおこなわないため、自動仕訳ルールの整備が併せて必要になります。それさえクリアすれば、基本料金が不要なため、負荷の大きい年一顧問先の省力化等にも活用しやすいのが大き

なメリット。

各社のサービスを比較する上では、単純な料金比較ではなく、自動仕訳ルールの設定工数と外部で入力された仕訳内容の確認工数まで、天秤にかけて検討するのが正しい比較方法となるでしょう。また、他社サービスは領収書や請求書もデータ化の対象となるため、その点も考慮して検討する必要があります (freeeでの領収書／請求書の省力化はp.28でご紹介する「連続取引登録」でおこなえます)。